

【4月】
・新滝の川斎苑供用開始



【5月】
・二度目の緊急事態宣言により、イベントの中止等相次ぐ
・管内一日当たり感染最多28人

【6月】
・東京パラリンピックのアルゼンチン共和国パラカヌー合宿が新型コロナウイルスの影響で中止

【7月】
・えべおつ市民大学 乙なカレッジ開校



・記録的猛暑

【8月】
・たきかわ池の前食堂オープン



・二度目の緊急事態宣言により、イベントの中止等相次ぐ

【9月】
・滝川市合同墓供用開始
・郷土館収蔵の「FT法による人造石油工業化資料」が未来技術遺産に選定

【10月】
・創立50周年の滝川吹奏楽団が全国大会に出場し、銅賞受賞
・江部乙中学校閉校式



【11月】
・エフエムなかそらち開局20年

1962年(昭和三十七年)生まれ
松尾 和也さん



1950年(昭和二十五年)生まれ
工藤 洋子さん



1938年(昭和十三年)生まれ
工藤 文雄さん



1926年(大正十五年)昭和産 生まれ
中島 松枝さん



昭和26年に創業(昭和40年に法人化)した花月堂松尾製菓の三代目の松尾さん。滝川をはじめとする北海道の食材のおいしさを生かし、地産地消にこだわったお菓子作りをしています。特に要である薄力粉は滝川産の「きたほなみ」を使用するなど、素材の味を伝えたいそうです。そんな松尾さんが父の跡を引き継いだのが20歳。あれから40年の時を経て、娘さんもまた自分の後を引き継いでくれるそうです。四代目誕生に向けて楽しい二人三脚がはじまります。



趣味はJALへの搭乗です。きっかけは平成30年の春と秋、奄美大島をメインに島々をつなぐアイランドホッピングにチャレンジし1泊2日で16回も搭乗したことです。「JAL大好きの会」の会員でもあります。

旭川市出身の工藤さん、結婚を機に滝川へ移住されたのが昭和50年でした。やはり一番の思い出は「子どもが生まれたとき」と笑顔で話されます。病氣も経験されますが、不屈の根性で乗り越え、むしろ活発に行動される姿に頭が下がります。特に趣味は多彩で、洋裁、車の運転、写真撮影、日ハムの応援のほか、家庭菜園も大好きです。工藤さんの畑には芋、ナス、きゅうりなどの野菜やマリーゴールド、デルフィニウムなどの花々が所狭しと植えられています。



五黄の寅年に生まれた自分はタイガー洋子とおどける様子がチャミング。趣味の写真は、撮って終わりではなく、自分で印刷して残しています。上の写真は昨年5月に撮影した江部乙神社の笑う狛犬とのツーショット。

生まれは増毛町の舎熊で、1、2歳のとき親の仕事で赤平市へ。その後、赤平市の炭鉱に勤め、事務所まで働く奥さんと出会い昭和36年に結婚します。しかし、炭鉱現場は、ガス爆発事故など危険と隣り合わせの環境。家族のため、いところを紹介してくれた中央バスへ昭和39年に転職し、定年まで運転業務を勤め上げます。令和3年が結婚60年とのこと、「この年まで一緒にいたい方ですよ」と謙遜しますが、いきいき百歳体操に夫婦で参加するなど、仲むつまじさが伝わります。



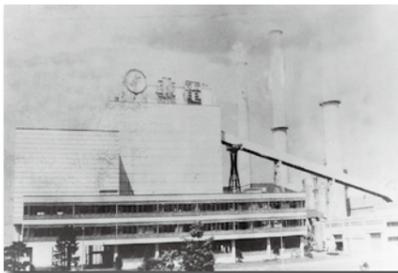
定年後に始めたゴルフが一番の趣味で、これまでの最高スコアはなんと76。最近は飛距離が出ないとおっしゃいますが、今シーズンも90を切る腕前。ちなみに、冬場は除雪といきいき百歳体操で運動不足解消です。

大正最後の年にして元旦生まれの中島さん。出身は奈井江町で、結婚を機に新十津川町へ。嫁入りの際、渡船で向かったことをよく覚えていますが、昭和28年には滝川へ移住し東町で稲作に従事されますが、当時は一面田んぼで、まさかこんなに建物が立ち並ぶとは思いませんでした。今も自宅の畑でトマトやナス、とうきび、南蛮、大根のほか、今年初めて黒にんにく作りにも挑戦し、収穫した野菜は友達や孫に贈り喜ばれているそうです。



毎日、朝昼晩の三食をしっかり食べ、自分で味付けした黒豆と小女子の佃煮を40年以上欠かさず食べています。最近は趣味活動ができないそうですが、これまでに制作した干支の木目込み人形を見せてくれました。

【北電火力発電所工事完成】



ほかにも：
・開西中学校開校
・市総合庁舎落成式
・滝川工業高等学校校舎落成
・石狩川橋竣工

【滝川町開基60年記念式】



ほかにも：
・児童公園(現・平和公園)開園
・三笠宮同妃殿下ご来町(滝川種羊場御視察)
・国木田独歩の石碑除幕式

【人造石油工場設置決定】



ほかにも：
・滝川木材創立
・滝川卸売市場栄町に移転
・江部乙商業組合創立

【糸屋銀行滝川支店閉鎖】



ほかにも：
・滝川商工会設立
・女子実業学校江部乙女学校設置

【特集】寅年生まれ 大集合 おわり